

私たちの病院は

- ①だれでも安心してかかれる病院
  - ②心の通いあう、あたたかい病院
  - ③地域の人々と共に歩む病院
- であることをめざします。

# 健康のかけはし

No. 86

2025年1月1日

大田病院

〒143-0012 東京都大田区大森東4-4-14

☎ 03-3762-8421 発行責任者 渡邊 峰人

大田病院は基幹型  
臨床研修病院です

新年あけましておめでとうございます。

去年は1月1日の能登半島地震に始まり、不安なスタートでした。コロナ感染も引き続き油断がならない状態でいろいろ大変そうだなと思っていました。3月に金沢で研究会があつて、北陸新幹線で金沢に行きました。東京駅から1本で金沢についたときはずいぶんと近くなった印象でした。金沢市内は地震の影響はほとんど見られず、近江市場や香林坊で金沢の食と酒を堪能し気持ちよく帰ってきました。その後



## 新年のご挨拶

大田病院

院長

田村

直

5月からコロナは5類復興を願っています。

扱いとなり、世の中はもうコロナは終わったような雰囲気となりました。感染の既往やワクチン接種の広がりですが、コロナ感染は断続的に続いていて病棟でクラスターになったりしています。ただ、以前のようには世間では重大感はなく、コロナ陽性です」と言っても「ふーん、そうなのか」くらいの反応ですね。11月の終わりに僕もコロナになりました。未知の敵と戦っていると聞いた感じで2日くらいかなり具合が悪くて一時は入院したほうがいいのかなとも思ったくらいです。コロナ治療薬（ゾコーバ）が効いたよう

3日目から体調は戻りました。どこで感染したのか不明なのがちょっと不気味です。もしかすると通勤電車かもしれませぬ。インフルエンザも流行ってきていますし、外出時はマスク着用を心がけましょう。

4月の報酬改定で病院の病床は急性期病棟（15）、回復期リハビリテーション病棟、療養病棟、地域包括ケア病棟、地域包括医療病棟と細かく分類され、医療費をさらに削減する方針となりました。そのため病院は軒並み経営悪化しました。政府は医療を縮小させてどうするつもりなのか、問い正していかなければなりません。

医療を取り巻く状況は問題満載で厳しいですが負けずに頑張っていきたいと思います。今年もよろしくお願ひします。

## 理事長就任あいさつ

2024年10月から田村先生に代わって理事長に就任しました。現在は大森中診療所の所長の任についていますが、加えて法人全体について責任を負う立場となります。医療をめぐる状況がかつてない厳しさを増している中の交代であり、身が引き締まる思いです。

物価が上がっている中で今年の診療報酬改定では物価上昇分にも満たず、診療所においてはむしろ引き下げとなる内容であり医療機関からは悲鳴があがっています。

貧困は自己責任、病気でさえも生活習慣病と呼んで自己責任と言わんばかりの今の風潮の中で、無差別・平等の医療と福祉の実現を掲げる民医連綱領の実現に向かって力を合わせていくことが今ほど重要な時はないと思います。

職員と地域に依拠してこの城南福祉医療協会の医療と経営を守っていきたくと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

城南福祉医療協会  
理事長 山本 博

# 地域包括ケアの充実へ：地域包括医療病棟とケア病床を20床へ増床

大田病院では、地域医療の充実と患者さまにより安心してご利用いただける医療体制の構築を目指し、このたび地域包括医療病棟および地域包括ケア病床の増床を行いました。これにより、地域包括ケア病床は従来の12床から20床となり、より多くの患者さまを受け入れることが可能となりました。また、急性期病棟についてもこれまでどおり維持し、急性期治療が必要な患者さまに迅速かつ適切な医療を提供できる体制を整えております。

地域包括医療病棟は、急性期治療を必要とする患者さまに対し、医療・看護・リハビリを包括的に提供することを目的とした病棟です。この病棟では、早期の在宅復帰や地域内の継続的な医療支援を視野に入れた治療を行っています。特に、退院後も安心して生活を続けられるよう、多職種が連携して患者さまやご家族のサポートを行う体制を整えています。また、地域の診療所や介護施設との密接な連携により、患者さま一人ひとりに最適な医療とケアを提供しております。

地域包括ケア病床は、急性期治療を終えた患者さまが、在宅復帰に向けた医療・リハビリを受けられる重要な役割を果たしています。大田病院では、医師、看護師、リハビリスタッフをはじめとする多職種が連携し、患者さま一人ひとりの状態に応じたきめ細かなケアを提供しております。また、増床に伴い、より迅速かつ柔軟に地域医療を強化しました。

大田病院は今後も急性期病棟の維持と機能強化を図りながら、地域包括ケアのさらなる充実に取り

組んでまいります。患者さまの健康と生活の質を支える医療を提供するため、引き続き努力を続けてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

医師課 事務次長  
和智 淑哲



## 医師担当部 色部 希歩



医師担当部で初期研修を担当し、医師として活躍するスタートを切った初期研修医の研修を滞りなく進めるためのサポートを行っています。最近では、研修医の先生も誘い大田病院のテニスサークルに参加しています。久しぶりに趣味のテニスをし肩に痛みを覚え、これが五十肩なのだろうと肩の上がらなさや痛みと共に生活していました。数ヶ月たっても痛みが引かず、同期である整形外科西園先生外来を受診し、MRI検査も行い五十肩ではなく腱板損傷をしていたと分かり、外来リハビリを約1ヶ月受けました。ストレッチや自主トレを教えていただき全く上にならなかった肩の可動域も広がり、またテニス復帰することができました。基本的なことですが、運動前後の準備運動の大切さ、何でも加齢のせいと決めつけないで適切な現代医療の力を借りることが大切と感じました。

今回は、栄養科の内田さんです。



## 第8回 旬のおつまみ

### 1月のおつまみ

今回は、「牡蠣のナメロウ」「安心・牛肉のタルタル」「鮭のかま焼き・エスニックソース」

1品目の牡蠣はポイル後、氷水で急冷。リードペーパーなどで水気を切ります。今回は、大葉・長葱・ミョウガと一緒にナメロウにしました。和風仕立ての薬味で合わせたので、ポン酢やワサビ醤油などがお勧め。焼きのりで巻いて食べる、より中毒性をアップ！



2品目の牛肉はニンニク一片と酒と味噌の調味液と一緒にフリーザーバックに入れます。低温調理、60度の湯せんで40分じっくりと中まで火を入れます。ローストビーフ状態に仕上げ、そのままスライスでも美味しいですが、、生のマッシュルーム・玉ねぎ・ニンニクと一緒にタルタルです。とにかく叩く。レアなハンバーグをイメージしましょう。今回は塩とオリーブオイルやバター醤油の常備品で、洋風で頂きます。

3品目はただ、オーブンで焼いた鮭のかまに。フライパンでニンニクを炒め、輪切り唐辛子、ブラックペッパー・ナンブラー・バルサミコ酢・はちみつをあわせたらひと煮立ち。軽くトロミが付いたらいい感じ。大根おろしとポン酢の組み合わせもシンプルで美味しいです。



栄養科主任 調理師・山崎